

こころ 心を こめて

聖書には、こう書かれています。「喜びをもって主に仕えよ。歌いつつ、そのみ前にきたれ。主こそ神であることを知れ。われらを造られたものは主であって、われらは主のものである。われらはその民、その牧の羊である。」¹

何をしている時も、神様に感謝の気持ちを表しましょう。どんな時にも、神様は、ご自身の子であるあなたのすぐそばにおられます。幸せな時には、神様を賛美しましょう。悲しい時や大変な時は、神様を求めましょう。さびしく静かな時は、神様がなぐさめてくださると信頼しましょう。神様はいつでも、あなたのすぐそばにいてくださるのですから！

心をこめて、神様を賛美しましょう。その賛美が、あなたの気持ちを高め、神様に近づけてくれます。賛美は、あなたの心を希望と幸せで満たしてくれます。賛美を通して、あなたは、無条件でいつまでも続く神様の愛を思い出すでしょう。

「主は恵み深く、そのいつくしみはかぎりなく、そのまことはよろず代におよぶからである。」
(口語訳聖書、詩篇 100:5)

文：シャナ・ランドン 絵：ディディエ・マーティン
彩色とデザイン：ロイ・エバンス
出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright© 2019年、
ファミリーインターナショナル
"With Your Whole Heart"--Japanese
関連の読み物はこちら → 賛美と感謝

